info mart

2010 SUMMER

●MUSE INTERVIEW |p2-3
「ディズニー・オン・クラシック」が
ミューズにやって来る!

●MUSE INTERVIEW |p4-5
柳家小三治師匠は
歌の好きな少年だった!!

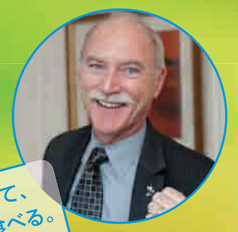
●CLOSE UP MUSE |p6
ミューズ名曲シリーズ
気軽にクラシック2010
飯森範親さんからのメッセージを紹介!

インフォ・マート
2010.6.30　VOL.53
財団法人 所沢市文化振興事業団

Invitation Disney on CLASSIC ~a Magical Night 2010

長期公演を
乗り切る秘訣！

大好きな音楽をしながらの
旅だから大丈夫！
チャレンジする冒険心があれば
乗り切れます！



健康面を意識して、
ちゃんと眠って食べる。
そしてパーティーには
行かない(!?)

「ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会2010」への招待状

2010
7/10(土)
よりチケット
発売開始

**2010年10月23日(土)、ミューズ アークホールで
大人のためのエンターテインメント
「ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2010」が開催されます。
公演を心待ちにしている皆さんに、
音楽監督のブラッド・ケリーさんとベル役に抜擢された
ボーカルのキャリー・アンダーソンさんの
素敵なお話をご紹介します。**

2010.10.23(土)
開場15時30分　開演16時30分　アークホール

**ディズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会2010**

出演／指揮：ブラッド・ケリー
ボーカル：キャリー・アンダーソン(ベル役)
東京フィルハーモニー交響楽団
“ネバーランド・オーケストラ”ほか
曲目／『美女と野獣』より「美女と野獣」ほか

※出演者・曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※公演に関する詳細は、インフォ・マート通信(P12)をご覧ください。

©Disney

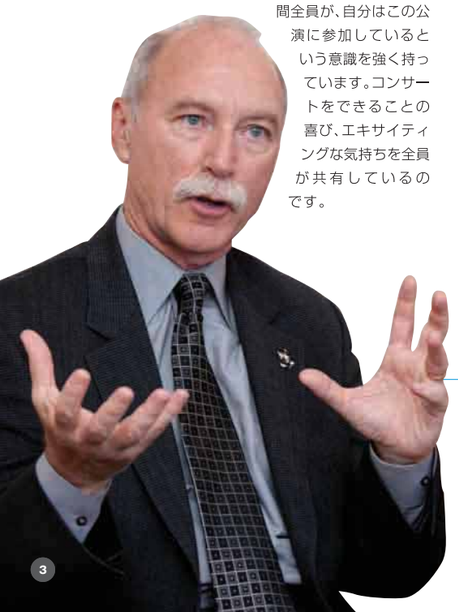
ブラッド・ケリーさんは
日本が大好き！

私はミシガン州出身で、
北海道が自分の田舎にとても似ているな
と思って、第二の故郷のような気がしています。
いつか北海道に1ヵ月くらい住んで、色々なところを
回ってみたいと思っています。
ボーカルのキャリーは今回初めての日本公演ですので、
色々なところを見てもらえる機会があればいいなと
思っています。東京も大好きですよ！
東京はグルメな街ですから、
それだけでも素敵な街ですね。

ディズニー・オン・クラシックは日本発信のエンターテインメント

Q ディズニー・オン・クラシックは日本から発信された企画ですが、このコンサートの特長を教えていただけますか？

ブラッド・ケリー★このコンサートは、日本のマーケットを知り尽くしたプロデューサー集団とディズニーミュージックグループとがタッグを組んだものです。私は日本人以外の唯一のメンバーとして参加しています。音楽監督としてどのようにしたら全体的なコンサートの流れが良くなるのか、そういうことをメインに見るようにしています。このコンサートの特長というのは、オーケストラが一番前に出てきていることです。これだけオーケストラがコンサートの中で重要な役割を担っているというのは、他のコンサートでは中々ないと思っています。
私がこれまでやってきた仕事では、舞台、キャスト、オーケストラのメンバーがそれぞれの役割のもとに仕事をするというプロジェクトがほとんどでした。このディズニー・オン・クラシックでは、舞台、キャスト、オーケストラの人間全員が、自分はこの公演に参加しているという意識を強く持っています。コンサートをできることの喜び、エキサイティングな気持ちを全員が共有しているのです。



Q 2002年から始まったディズニー・オン・クラシックは、今年で8回目の公演になりますが、この8年間で変化したことはありますか？

ブラッド・ケリー★この8年間でとっても変わったと思います。私たちのコンサートというのは、8週間でもかなり変化を遂げます。それが8日間だけでも4日間だけでも変化するくらい成長を遂げるコンサートです。まるで生き物のようですね。2002年からの変化ということでは、ドラマチックな変化がありました。例えば、オーケストラのメンバーにしても最初は演奏家という立場でしたが、今では主役級のダンスをしてもらったりしています。第1回目は、シンガーはジョディー・ベンソン一人だけだったのですが、今年はベル役のキャリーを始め7人のシンガーがアメリカからやって来ます。実際の見た目だけでなく、芸術的な面での変化もおおいに遂げてきています。

ディズニーのコンサートはまほうを提供するもの

Q 今回のテーマ「Miracle ～愛が輝く時」のコンセプトをお聞かせください。

ブラッド・ケリー★毎年テーマを掲げてコンサートをしております。今年は『美女と野獣』をフィーチャーするということで、テーマの「Miracle ～愛が輝く時」とリンクしています。一言で言えば、「トランスフォーミング・ラブ」。愛がだんだん変化していくという、とても強いメッセージです。愛は奇跡を起こすことができる――これは『美女と野獣』のみならず、今回のコンサート全体に言えることです。そして、ディズニーのコンサート自体、まほうを提供するものだと思っています。

Q 『美女と野獣』のベルとキャリーさんとの共通点はあると思われますか？

キャリー・アンダーソン◆ベルに似ている点、尊敬するところはいくつかあります。ひとつは、冒頭の歌で出てきますが、ベルのとっても個性的なところや独立心の強いこと、そして強さを持っていることはとても尊敬しています。私もぜひそういう風になりたいと思っていますので『美女と野獣』の歌の中に「これが愛かしら」というような疑問があって、ある時予期もせず「愛がやってきた」というラインがあります。今まで見えていなかったような角度から愛というものを発見して、自分が変わっていく。それがミラクル――奇跡になるのだと思います。
キャリー・アンダーソン◆愛は成就するのに時間がかかります。外見からでは判断のできないものを感じ取って、それが愛だということに気づく。そんな過程を経なければいけないのではないでしょうか。それこそが変化ということだと思うのです。本当の愛を見つけることによって、奇跡が生まれる、というのが今回のテーマのメッセージなのではないでしょうか。

共感もできます。それと、お父さんを愛していること、これもとっても尊敬できる点です。お父さんを救うために野獣のもとへ行き、結果的には伴侶を見つけることになったのですが、家族に対する愛、忠誠心はとっても尊敬できます。それから、野獣の外見ではなく、真実を見分ける目を持っていることには素晴しさを感じます。

Q ディズニー・オン・クラシックに初出演される気持ちをお聞かせください。

キャリー・アンダーソン◆ブロードウェイの世界もディズニー・オン・クラシックも“美しい音楽”ということでは変わりはありません。普通ブロードウェイでは、オーケストラピットの中に8人位のミュージシャンがいて演奏するのですが、私たちは彼らの顔が見えない状況で演技をしています。でもディズニー・オン・クラシックは、同じステージの上で、フルオーケストラなど、色々な楽器のサポートを間近に受けながら演技ができる。だから音楽を一緒に作る喜びをより一層感じられるのだと思います。私はニューヨークのブロードウェイでの活動が中心ですので、日本での公演をとても楽しみにしています。

※インタビューは、2010年5月25日に行ったものです。

写真撮影／杉本吉駿

プロフィール

ブラッド・ケリー Brad Kelley

「ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会」の第1回(2002年)から連続して指揮し、音楽監督として楽曲のアレンジなど精力的に手掛け、また日本の聴衆の心を見事に掴んで、毎年のコンサートを大成功へと導いてきた。ディズニーの多数のプロジェクトに参加しており、東京ディズニーシーの「ミスティックリズム」「ドナルドのボートビルダー」「アンコール！」なども氏の手によるもの。来日回数は数えきれず、日本文化と日本食をこよなく愛している。

東京フィルハーモニーは大きなファミリーのような存在

Q 演奏は東京フィルハーモニー交響楽団“ネバーランド・オーケストラ”ですが、指揮者の立場からのご意見を聞かせていただけますか。

ブラッド・ケリー★お話をしようと思えばいくらでもできるほど素敵なオーケストラです。まず、音楽家としてのプロ意識の高さです。そして音楽に関わっているという気持ち、それによって生まれる喜びをみんなで分かち合っています。私はこの8年間で彼らと一緒に音楽を作っているという思いを築き上げてくることができました。だから“音楽が常に生きている”という感覚があるのです。私にとって東京フィルハーモニーは大きなファミリーのようなものです。事実、この8年間でメンバーの中で結婚した人もいれば子供まで生まれた人もいます。そしてそれを皆で祝福しています。

Q 演奏会で何かサプライズがあればお教えていただけますか。

ブラッド・ケリー★申し訳ありません、サプライズをお話してしまうとサプライズでなくなってしまうので……(笑)。所沢のアークホールは、素敵なクラシックスタイルのホールと伺いました。お客様が自分たちの周りを囲んでくれているホールというのは、お客様の反応がじかに伝わってきますので、とても演奏するのが楽しいんです。そしてお客様にも十分に楽しんでいただけると思います。このコンサートがどれだけエキサイティングなものなのかをホールにいらして感じていただけたら嬉しいです。

Q 最後に公演を楽しみにしている所沢ミューズのファンの皆さんに、メッセージをお願いいたします。

キャリー・アンダーソン◆実際に所沢に伺ってコンサートができることを楽しみにしています。皆さんがエキサイティングな気持ちになっていただけたらとても幸せです。
ブラッド・ケリー★ディズニー・オン・クラシックを代表して、今回、初めて所沢ミューズで公演させていただけることを嬉しく思っております。このコンサートでは、ディズニー音楽が好き、歌が好き、ライブ音楽が好き、という皆さんに、笑ったり、泣いたり……様々な感情を楽しんでいただきたいです。このエンターテインメントは、皆さんが初めて体験する魅力的な時間になると思っております。会場で皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

プロフィール

キャリー・アンダーソン Carey Anderson

大人気ロングラン・ミュージカル『マンマ・ミーア！』ブロードウェイ公演でソフィー役に抜擢され、『マンマ・ミーア！』の全米ツアーにも参加し、注目を集める。その後、トニー賞受賞ブロードウェイ作品『アベニューQ』のメインキャストとして起用され、米国のナショナルツアーでも活躍。『ザ・ガールフレンド』、『アビー・ヴィクトリア』、『マイ・フェイバリット・イヤー』、『ライフ・オン・アース』、『エバー・アフター』など、ニューヨークのオフ・ブロードウェイ作品にも積極的に出演。持ち前の快活さと誠実さに溢れた歌声に高い評価を得ている。

柳家小三治
歌ま・く・ら〜僕は歌の好きな少年だった〜

柳家小三治が思い入れの深い抒情歌を歌います。
そして思いのままに語ります。
歌あってのまくらでしょうか、
まくらあっての歌なのでしょうか…
歌とたのしいおしゃべりで過ごす晩秋のひと夜♪
貴重なプログラムです。めずらかな演目です。
笑いあり涙あり、
人間「小三治」のコンサートをご堪能ください。

2010年
11月18日(木)
開催

小三治師匠のやさしくて
心のこもった歌声…。
流行歌やヒット曲ではないけれど、
想い出に残っているあの時の風景が曲の中にある
懐かしさがこみあげてくる。
忘れかけていた心の痛みとぬくもりが、きっと甦るはず。
歌と話、そしてピアノの伴奏が
あなたを魅了します。

タイトル通りなんですよ。
歌が好きなんですね。
人前で歌うのが好きなんでしょうよ(笑)。

実は、以前ミューズでやらしていただいた独演会の枕で少し歌ったことがあるんです。その時にあまりにも拍手が多かった。噺の時よりも歌の時のほうが拍手が多かったような気がしまして、客席にクレームをつけました(笑)。そうしたらワアッ!!ってさらに大きな拍手をいただいた。

ですから「そういうことをすると、俺は歌の会をやっちゃうぞ!」て言ったんです。そうしたらもっと大きな拍手が湧きおこちゃったんです。そんなことがあったものですから、その時の様子をどなたかがご覧になっていて、もしかしたら本当にお客さんが来るのではないかと思ったんじゃないですか……。

それでお客さんが来なかったら、それはそれで面白いんですけどね。私はね、お客さんが来ないところでやるっていうのが、意外と好きなんですよ(笑)。

それっていうのもね、落語というのはそんなにお客さんが入るものじゃない、という頭があるんですよ。でも、今はなぜか落語の会をしますと、いっぱいお客さんが来てくださるんです。これって不思議なんですよね。これは珍現象か?なんて思ったりするんです(苦笑)。

噺のまくらじゃなくて、歌のまくら。
だから「歌ま・く・ら」。
テーマは「僕は歌の好きな少年だった」
ってこと……

歌と言いますけど、私の歌はうまい歌じゃないんですよ。それから楽譜、わかんないですから、楽譜を見て歌ってません。全部耳からの聞き覚えです。子どもん時から好きで聴いているって曲が多い。譜面では、こういう風になっているわけ?でも俺の耳はこういう風に覚えているよ、って。ピアノが譜面の通りにいっても、私の歌は違います。ピアノの音と違うなんてこと、普通のことですよ。あくまでも枕なんです。歌だから、「歌ま・く・ら」にした。「ま・く・ら」っていう私の文庫本が出てるんですけど、この題名の付け方は、「ま・く・ら」って、間に点が入っているんです。

何も意味はないんです。あっ、それいいやっていうわけで。だから、歌が巧いんじゃないかとか、そういう耳で来るとね、大きく裏切られますよ(笑)。

「僕は歌の好きな少年だった」っていうのが、大きなテーマなんです。歌の好きな少年が、ず〜っと歌を歌ってきて、どんなに好きな趣味や道楽ができても、歌だけは離さなかった。その少年が大きくなるまで、ずっと鼻歌を歌い続けて来た。音楽を聴き続けて来た。歌って、いいよね、音楽って、楽しいよね、というお話なんです。そして話の中に歌が入る、と思ってください。

最初のライブの時は、
何曲も歌ったんですけれど
歌の合間に話を交えたというよりも、
おしゃべりのほうが多かったですよ。

今ピアノの伴奏をしてくださっている岡田知子さんから、お友達の藍川由美さんというソプラノ歌手の方をご紹介いただいて、それが驚いたことにこの藍川さんからご自分の定期演奏会にゲストとして来て歌ってもらいたいっていう話をいただいて、それで、このバカ、その気になって歌いに行きましたよ(笑)。

『山のけむり』『白い花の咲く頃』『チャペルの鐘』って歌でしたね。これはみんな私が子どもの頃、小学校、中学校、高校の頃。妹がうちでピアノを弾いてた頃、妹のピアノの伴奏で歌っていた歌なんですよ。

そうしたらば、そこに帯広の「六花亭」という長い間、私が落語会をやっているお菓子屋さんの社長がタイミング良く聴きに来てくれていて、今度うちでもやってくれないかということになって。

それでそれを落語のCDを録っているソニーの京須さんというプロデューサーに今度こういうことやるんだよね、と話したら、「ちょっと記録させてくれませんか?」って言うから、CDのために録るっていうならあがっちゃうけど、メモのために録るっていうくらいなら、ちょうどいいやとなって、それで録音機とマイクを持った技師が一人で来てくれた。そんな経緯で録ってみたらば、なんか使えそうだからCDにしたいって、言ってきたんですよ。

「え〜っ!」て(笑)。それで「僕は歌の好きな少年だった」というCDが出ちゃった。

歌う順番も変わっちゃうし、
譜面通りには歌えない。
好きな歌を好きなように歌わしてもらってます。
だからもう、伴奏する方は大変です。

岡田さんのピアノがあんまり素敵なんで、私、聴いちゃうんですよね。それで、うっとりして出んのを忘れちゃったりして…。最初から演奏し直してもらうこともあるんです。私が遅れても、ぜんぜん驚かない人ですから。今までの演奏会でも何度もありましたからね。

まあ今までの演奏会っていっても、一回目が札幌。二回目が鈴本演芸場。これは自分の独演会で、お客さんに「今日は歌です」と言ったら、「え〜、歌かよ〜」と(笑)。それから三回目は、岡田さんの依頼で、一般のお客さんじゃなかったんだけど、蔵にある小さいホールでやった。そして所沢が四回目になるはずだったんですけど、その前に金沢の県立音楽堂ってところでやるということになっちゃった。ですから、所沢が五回目になるわけですね。

数多くなんてできないです。疲れちゃって。実はね、落語もそういう気分でやっていますから、同じ話をやっても同じ話になるってことはないですね。そん時、そん時の、自分の心の趣がないとできないですから…。覚えた話を繰り返し繰り返しやるってことはできないですから。歌っていっても、それは同じなんですよ。

歌う順番が変わっちゃうこともある。だから最初のコンサートの時は、順番を決めていなかったんだと思う。だから伴奏が大変。こんな風な流れで行くっていうことは一応決めてありますけどね。

所沢のお客さんに後押しされて、
持ち上げられて、
ピアノの横に立たされた、って感じですね。

ミューズの落語会にきてくださった方たちに背中を押されて、この歌の会をすることになった。あの拍手、度重なる拍手。あの私とのやり取りがなければ、この会はなかった。だから、所沢のお客さんに後押しされて、持ち上げられてピアノの横に立たされたという会だ、ということでしょうか。

実はね、高校生になってから、初恋の人のために捧げた歌ってのがあるんですよ。『山のけむり』という歌なんですが。中学時代の先生のお宅に集まって、皆で隠し芸をやった時に、「歌、歌ってよ」って彼女に乞われた。しかも私の好きだった『山のけむり』を歌って欲しいと言われた。嬉しくてねえ〜。好きな人に、その歌を名指しでリクエストされたってことが、もう天にも昇るくらい嬉しくて、歌いましたよ。

それからっていうもの、その『山のけむり』は彼女の前以外では歌わないって、決めたんですよ。それで人前で歌うようになったのは、あれから何年たってからでしょうか、40歳ぐらいになってからです。新宿のゴールデン街の裏ぶれた酒場で、流しのジローさんに促されて、泣きながら歌った。それが何十年ぶりかの『山のけむり』でしたね。今度もたぶん、歌わせてもらいます。

でも歌にはあんまり期待しないように…(笑)。

少年と歌の楽しい関係

学芸会の独唱が僕のデビューです。
巧いとか下手とかは問題じゃない。
その時々の気持ちを歌に託しているんです。

小学校三年の時に、先生に選ばれて学芸会で独唱させられたっていうのが、記憶の最初ですかね。『どんぐりころころ』です。どうして選ばれたのかわからない。特に歌が巧いって言われたこともない。でも音楽の時間に歌っていたのが先生の印象に残ったんでしょうね。

今も少年の気持ちで好きな歌を歌ってる。心が少年なんですよ。歌が巧いと思うと大きく裏切られますからね。ただ、あのCDを出した後に、反響としては、巧いとか下手じゃなくて、聴いてると泣けてしょうがない、というような反響が大きかったです。

どういうことでしょうかね〜。きっと俺のことを情けないと思って泣いているんじゃないかな(笑)。それを藍川由美さんが、その時代を生きて来た人じゃないと歌えない、ということを言ってましたね。今度のコンサートも愛の歌が多いですよね。女々しいと思いますよ、私。こんな愛の歌ばっかり歌って。愛じゃないものも中にはあるかも知れないけれど、まあ、愛の歌が多いし、それが自分の歌だと思っている。その時に何を考えているかっていうと、いつも愛した人のことしか考えていない。その思いがこの音楽会を存在させている原動力になっている。生きる原動力と言ってもいい。そんなこと言ったら、奥さんに怒られるんじゃないですかって、聞いた人がいますよ。

完売御礼

2010.11.18(木)
開場18時30分　開演19時
マーキーホール
所沢市市制施行60周年記念事業
柳家小三治 歌ま・く・ら
〜僕は歌の好きな少年だった
はなし・歌／柳家小三治
ピアノ／岡田知子

当公演は、全席完売となっております。
予めご了承ください。

岡田さんのこと

師匠、ちょっと歌ってみませんか?
と言って、ピアノを弾き出したんです。
え〜っ、私が今ここで?
と言うような調子で…

今ピアノの伴奏をしてくださっている岡田知子さんとは、行きつけのとんかつ屋さんで知り合いだったんですが、埼玉県で落語会があった時に、お友達の藍川由美さんというソプラノ歌手の方を連れて来てくださったんです。

その会が終わった後、「帰りに私のうちでお茶でも飲んでいきませんか」ってお誘いいただいて、じゃあ、行ってみましょうかって、お邪魔したんです。そうしたらもう、ピアノが何台もあるようなお家でね。突然、「師匠、ちょっと歌ってみませんか?」って、ピアノを弾き出したんです。「え〜っ、私が今ここで?」というような調子だったんですけどね。そして、私、歌っちゃったんです。

私の妹は富山県で高校の音楽の先生をやっていて、生徒たちに一流の音楽家のいい音楽を聴かせたい、という校長の依頼に応えて、かつて演奏会を聴いて素晴しいと思っていた岡田知子さんの名前をあげて、来てもらった。つまり、岡田さんは私より先にうちの妹と知り合いだった。

それで私がトンカツを食いにいっている時に、岡田さんが私に声をかけてきたんですよ。「妹さんにいつもお世話になってます」って。まあ、それが偶然というやつですね。偶然から偶然、そっからまた偶然が生まれる、これは偶然の産物ですね。

どういうつもりなのか知らないけれど、そのあとになって藍川さんが岡田さんに「私は、ああいう風に歌えない」って言った。それは「あんなにひどく歌えない」と言ったのかと思ったらそうじゃなくて、なんか違うものを感じたらしいんですよね。

所沢市市制施行60周年記念事業

ミューズ名曲シリーズ 気軽にクラシック2010 開催

ミューズでは、クラシック音楽を身近に感じ、
気軽に楽しんでいただくことをコンセプトに、
ミューズ名曲シリーズ「気軽にクラシック」を開催しています。
今年も個性的なアーティストを迎え、
新鮮で親しみやすいプログラムをご用意しています。
この公演に先駆け、11月3日の公演で、
指揮とお話をしてくださる飯森範親さんからの
メッセージをお届けします。

プロフィール

飯森範親（いいもり・のりちか／指揮者）
東京交響楽団の正指揮者を務める日本を代表する気鋭の指揮者。桐朋学園大学卒業。名指揮者サヴァリッシュのもと研鑽を積む。これまでにケルン放送響、チェコ・フィル、NHK交響楽団などに客演。ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者、山形交響楽団音楽監督を務めるなど、国際的に活躍している。ミューズの気軽にクラシックでは、親しみやすいお話と質の高い演奏で絶賛を博している。

Message from Norichika Iimori

たくさんのお客様の中で演奏できることを楽しみにしています！

ミューズの〈気軽にクラシック〉は、もう4回も指揮していますが毎回完売という大盛況のお客様の中で演奏できるので、とても楽しみにしています！ミューズのアークホールでは、ヴェルディの「レクイエム」やオペラ・ガラ・コンサートも指揮していますが、とっても響きが美しい！日本トップクラスの音響です。ヨーロッパの「石の響き」がするので、大好きなホールの１つです。

東京交響楽団は世界的にみても、本当に幅広いレパートリーを誇る素晴しい楽団で、指揮するのがいつも楽しみです。〈気軽にクラシック〉では、「ボレロ」や「モルダウ」といった名曲が中心ですが、どんな小品を演奏してもすぐにわかる東響のカラーがあって、それがお客様にも伝わるのがこのコンサートの人気の秘密ではないでしょうか。

このコンサートでは毎回、埼玉県立芸術総合高校の生徒たちと共演しますが、いつもレヴェルの高さに驚かされます。高校生が加わって、東響の音色がどうなるのか私自身も楽しみにしています。

最近は、オーケストラを題材にした映画も人気ですが、ぜひミューズに足を運んでオーケストラの壮大なサウンドに浸ってください。きっとビックリするし、感動すると思います！

チケット好評発売中!

所沢市市制施行60周年記念事業
ミューズ名曲シリーズ
気軽にクラシック2010

2010年11月3日（水・祝）
開場14時　開演15時　アークホール
※14時15分～ロビーコンサートを予定
オーケストラのタイムトラベル！
出演／指揮：飯森範親　ソプラノ：高橋薫子
　　オルガン：松居直美　東京交響楽団
曲目／ヘンデル：オンブラ・マイ・フ
　　スメタナ：モルダウ
　　エルガー：威風堂々第1番
　　プッチーニ：私のいとしいお父さん
　　ラヴェル：ボレロ ほか

2010年11月27日（土）
開場14時30分　開演15時　アークホール
コンサート・ソムリエと味わうオルガン名曲
出演／オルガン：川越聡子
　　コンサート・ソムリエ：朝岡聡
曲目／バッハ：小フーガ ト短調
　　：トッカータとフーガ ニ短調
　　リスト：バッハの名による前奏曲とフーガ ほか

※公演に関する詳細は、インフォ・マート通信（P13）をご覧ください。※このメッセージはファックスによりお答えいただいたものです。

このところのクラシック界、気になること

金山茂人
Shigeto Kanayama
ミューズアドバイザー／財団法人東京交響楽団　最高顧問

現在民主党が行っている「事業仕分け」についてあるアンケートによると賛同の意思表明をする国民の方が多いらしい。一層のこと民主党もこの法案だけに絞っておけばもう少し支持率が上がっていたやもしれぬ。このところの論争の中で公益法人というとあたかも税金の無駄使いの権化みたいな目で見られ勝ちである。同じ法人の肩書きを持つ民間のオーケストラには関係ないはずなのに、議論が白熱すればするほど身が竦む思いをする。今回の「事業仕分け」第2弾後半戦で対象となるのは、各省庁が設立した公益法人が多く、調査の結果72公益法人に2,300人もの官僚OBの天下りがあったと報道された。税金で給料を支払うには少し高額過ぎるのではとか、果たしてこのような法人や事業は廃止するべきではないかという激論が連日マスコミを賑わしている。話題の「蓮舫センセイ」や担当者の厳しい眼力に、さすがのお役人等も防戦一方の感がある。幸いなことに(?)高級官僚たちはオーケストラへの天下りについてなんら関心を示さない。そのくせ日頃、見向きもしないはずの団体に「仕分け」を開始した昨年度、文化庁からの助成金の内もっとも重大な「重点支援」という項目が3年後に半分になることが明言された。国は芸術団体を何と心得ているのか!

公益法人は決して利益団体であってはならない。その代り、国は認可団体には税制面で優遇し企業からの寄付金が免税される。しかしこの免税措置を悪用してカネ目当てに走る輩が現れ、世のひんしゅくをかったばかりか逮捕者まで出てしまった。こういうことも影響したのか、このたび公益法人改革制度と称して全面的に見直しが始まった。詳しくはここでは書ききれないが、ようするに、ほんの一握りの「悪（わる）」のために、今までコツコツと真面目に努力してきた公益法人にとっては、まさに晴天の霹靂である。将来を考慮してもこの改革が芸術文化の発展に何ら貢献するとはとても思えない。そういう意味では「悪法」といわざるを得ない。その上、制度改革が宣言された一昨年12月時点から5年以内に申請して、認定か認可されないと、間に合わなかった団体は解散命令を下されるばかりか基本財産も没収される。しかも2種類あって「一般財団」か「公益財団」の内から団体の性質によっていずれかを選択しなくてはならない。期限も今年になって残るは、後3年しかなく、しかも現時点では2.5パーセントほどの申請しかないくらい人気がない。この改革の骨子は理事長を始めとして理事会を骨抜きにし、権限を剥奪し責任のみ押し付ける。その上、評議員会という上部組織が存在して理事会を監視し、あたかも意地悪小姑の如き存在らしい。このままでは理事長は元より、理事の引き受け手は、いなくなるのではないかと恐れられている。今日における我々のオーケストラの理事長は高給天下りどころか無給で、ボランティアが現実である。それどころか金集めばかりさせられ、これじゃあ高級官僚は無視するわけだ。それでも引き受けてくださるのは、やっている仕事の内容がコンサートであり、それをバックアップすることによって素晴しい音楽が醸し出されるという感動があるからにほかならない。心配なのは新公益法人を許可するのは文化庁ではなくて「内閣府」というのだから恐れいる。ここに芸術文化を熟知する役人が何人いるのか知らないが、彼らはどのような観点から各団体を評価し認定、認可を与えるのだろうか。

世の中不況といわれて久しいが音楽界そのものは不景気の影響でスポンサー筋の変化は多少あるようだが、だからといって極端にチケットが売れなくなったとか、毎月のコンサートが急減したなどという愚痴は聞かない。しかし世の中全体に人々がとてもヒステリックになっているように感じるのは私だけだろうか。昔は大家族で家がどんなに貧しくとも子供を大切に育て、家中が力を合わせて懸命に生きようと努力をしていた。このところメディアを賑わせている幼児虐待や無差別通り魔事件（先日も大阪で32歳の女が会ったこともない小学校2年生の女の子を理由もなく刺した）なんて昔は考えられないことだった。もはやこのようなニュースは現代では珍しくもなくなり人間の心の荒廃を考えると、とても怖くて嫌な時代に差し掛かっているような気がしてならない。

音楽界においても例外ではなく、このところ演奏会場においてお客様同士のトラブルが続出している。つい最近とてもショッキングでヒステリックな現場に遭遇した。在京のほとんどのオーケストラ、オペラ、バレエ、それといくつかの室内楽が参加して盛況の内に毎年開催されている都民芸術フェスティバルの会場で、わが東京交響楽団が演奏した某日、事件が起きた。指揮は若手のホープ飯森範親君、ピアノはこれまた所沢市在住で期待の俊英、末永匡君が奏でるベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」が力強く始まった。両者の呼吸がぴったりで観客を魅了していた‥‥と第1楽章が終わり第2楽章に入ろうとした刹那、私の2～3列斜め前のお客様に真後ろから「頭をふらふら動かすなよ!」突如かなりきつい怒声が聞こえた。すると「動かしてなんてイネェ～ヨ!」と、いわれた方も怒鳴り返しつつも、超静寂な第2楽章が厳かに始まって間もなく、後ろの人が、おもむろに前の人の頭を両手で挟み、押さえつけた。あ!やられた方は振り向きざまボディにパンチいっぱ～つ!一瞬の出来事だった。幸い1階の後ろの方の座席だったので指揮者、演奏者、現場周辺以外のお客様にはほとんど気づかれることもなく何事もなかったかの如く名演は奏でられ、やがて「皇帝」は無事終了した。その後休憩時にいきり立つ双方をなだめつつ、1人を2階の席に移動して、どうにか現場は収まった。心の安らぎを求めて聴きにきたはずのコンサートで、しかも演奏の最中に年甲斐もなくバカを仕出かしたオッサンたちは終了後、家路を急ぐ道すがら後悔したとしても同情は得られない。以前だったら、通勤電車内ならイザ知らず、コンサート会場で多少腹の立つことがあっても、まさか暴力を振るうなんてあり得なかった。初対面同士であっても音楽愛好家仲間という連帯意識が芽生えて互いに譲歩しあったであろう。ある意味ではこのような殺伐とした時代だからこそ尚のこと、音楽家の役目は大きいのではと思う昨今である。

クルージング・インフォ・マート

Cruising info mart

ミューズへ、そして読者の皆さんへ。

1 ベルトラン・ドゥ・ビリー指揮 ウィーン放送交響楽団

2010年3月5日(金)アークホール
開場18時30分　開演19時
出演／ハープ:グザヴィエ・ドゥ・メストレ
曲目／ファリャ:バレエ音楽「三角帽子」より第2組曲
ロドリーゴ:アランフェス協奏曲
ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
:交響詩「海」

- オーケストラの響きは心に残り、指揮者は体全体で全ての音を出しているかのように素晴しかった。ハープも素晴しかった。(所沢市・主婦)
- とても美しい響きで夢心地の演奏でした。(所沢市・女性)
- ハープの音がきれいでした。手の動きがすごくて良かったです。(所沢市・小学生)

2 テレ玉開局30周年記念 が～まるちょば サイレントコメディー JAPAN TOUR 2010

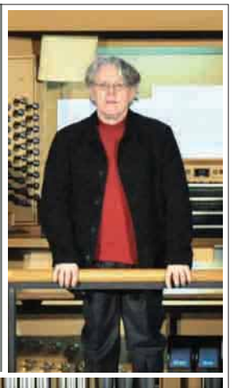
2010年3月10日(水)マーキーホール　開場18時30分　開演19時

- サイレントでここまで感動を与えることができるのは本当に素晴しいです。笑いはもちろん、涙が出そうになりました。(20代・女性)
- 大人も子供も、言葉や文化の違いを越えて共感できる演技に拍手!!(60代・男性)
- めちゃくちゃ楽しかったです。こんなに笑ったLIVEは初めてです。(20代・男性)

3 ダニエル・ロート オルガン・リサイタル

2010年3月13日(土)アークホール
開場14時30分　開演15時
曲目／ヴィドール:オルガン交響曲第6番〈インテルメッツォ〉
:オルガン交響曲第7番〈フィナーレ〉
ヴィエルヌ:オルガン交響曲第4番
〈メヌエット〉〈ロマンス〉〈フィナーレ〉
フランク:3つのコラール

- すごく迫力ある演奏で感動しました。(所沢市・中学生)
- パイプオルガンにはいろいろな音色、曲風があると初めて知り、美しいメロディと素晴しい演奏に感激しました。(所沢市・主婦)
- とても迫力あるオルガンの音色を存分に楽しむことができました。(比企郡・男性)



4 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「小手指亭」

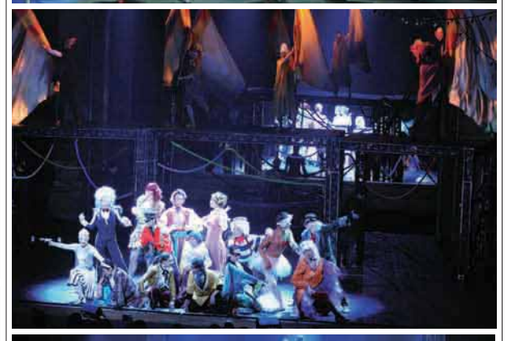
2010年3月13日(土)小手指公民館ホール
開場13時20分　開演14時
出演／柳亭楽輔、桂文月、松旭斎静花

- 三人三様のお話で、とても良かったです。(所沢市・主婦)
- 3席ともに楽しかったです。次回を心待ちしています。(所沢市・男性)

5 劇団四季 ソング&ダンス55ステップス

2010年3月14日(日)・15日(月)マーキーホール
開場18時　開演18時30分

- 歌もダンスも素晴しかった。舞台装置が華やかで綺麗で、楽しかった。(所沢市・会社員)
- 舞台と客席が一体となり楽しい時間でした。(所沢市・女性)
- 歌も踊りも引き込まれました。地元でこのようなショーが観られて幸せでした。(所沢市・主婦)



6 ミューズ シネマ・セレクション 世界が注目する日本映画たち PartX

2010年3月20日(土)・21日(日)・22日(月・祝)マーキーホール

2010年3月20日(土)

- ①14時30分～『ディア・ドクター』監督:西川美和
- ②18時～『ウルトラミラクルラブストーリー』監督:横浜聡子
- 上映のみならず監督さんのトークを毎年楽しみにしています。今回も楽しかったです。(練馬区・女性)
- 色々な映画を観られるので、毎年楽しみにしています。(所沢市・女性)

2010年3月21日(日)

- ①12時～『空気人形』監督:是枝裕和
- ②15時30分～『愛のむきだし』監督:園子温
- 映画のセレクトと組合せが非常に良いと思いました。(西東京市・会社員)
- こんなに面白い映画を観たのは久しぶりです。(所沢市・男性)

2010年3月22日(月・祝)

- ①11時15分～『ぐるりのこと。』監督:橋口亮輔
- ②14時30分～『人のセックスを笑うな』監督:井口奈己
- ③18時～『フィッシュストーリー』監督:中村義洋
- 監督が3名とも来場し、とても嬉しかったし楽しかった。(東村山市・女性)
- 映画を観る機会があまりないのでミューズで観られて嬉しいです。監督のトークも嬉しいです。(所沢市・女性)

西川美和監督

横浜聡子監督

中村義洋監督

井口奈己監督

橋口亮輔監督

是枝裕和監督

7 ミューズ パイプオルガンスクール 生徒発表会

2010年3月28日(日)アークホール
開場13時　開演13時15分

平成21年度パイプオルガンスクール初級クラス生徒による卒業演奏と修了式が行われました。

8 第66回所沢寄席 華の三つ巴競演会

2010年4月10日(土)マーキーホール
開場18時　開演18時30分
出演／立川志らく、柳家花緑
林家三平、柳貴家小雪

- 落語を生で初めて見ましたがとても面白かったです。(所沢市・会社員)
- 顔がほころびストレスが腹から消えていく面白い公演でした。(所沢市・主婦)
- とても楽しい時間でした。また是非来たいと思います。(狭山市・会社員)

「トッカータとフーガ　二短調」と並んで、数少ない「有名なオルガン曲」に「小フーガ　ト短調」という作品がある。この2曲、共に鑑賞教室や入門コンサートの定番だが、セットで演奏されることも多い。「ラーミードーーシラドシラソシミー」という、大変美しい叙情的で歌唱的な旋律で始まる、J.S.バッハの佳作である。曲自体が美しいことはもちろんだが、「小フーガ」というニックネームもチャーミングである。それでそのニックネームなのだが、なぜ「小」フーガなのか疑問に思われている方も多いのではないだろうか？答えは、バッハのオルガン曲の中にト短調のフーガが2曲あるから、である。その2曲のうち、規模の大きな作品が通称「大フーガ」、短いものがこの「小フーガ」である。大フーガは、「ファンタジアとフーガ　ト短調　BWV542」のフーガだが、小フーガは単独のフーガである。バッハには、こういうオルガンのための単独フーガ4曲、さらに、偽作が疑われるもの4曲が知られている。真作4曲はハ短調「レグレンツィの主題による」BWV574、ハ短調BWV575、ト短調「小フーガ」BWV578、ロ短調「コレッリの主題による」BWV579、そのうち、574 、575、 578がアルンシュタット、579がワイマール時代の作である。アルンシュタット時代とは、青年バッハが初めて教会オルガニストの職についた「駆け出し」の時代で、作風にはまだ未熟なところが見られる。いろいろな作曲家のスタイルを模倣し、挑戦と模索の中から自分の作曲テクニックを向上させていくのがこういう初期の作品を追うと見えてきて、興味深い時代である。「レグレンツィの主題」「コレッリの主題」というのもそれぞれ、レグレンツィとコレッリの曲から主題が取られていることを示す。ちなみに「大フーガ」は、当時ネーデルランドで流行った農民の踊りの旋律に基づいた主題で作られた。これは、バッハがハンブルクの聖ヤコビ教会のオルガニスト試験に応募したときに演奏した曲で、審査員であったヨハン・アダム・ラインケンがオランダ出身であったからと言われている。頑固一徹な逸話の多いバッハにもこのようなユーモアというか、自己アピールの如才なさがあったことを伝えるエピソードである。

今回の主役小フーガBWV578に戻ると、この曲の主題は、冒頭でご紹介した部分が前半、さらに弦楽器的な音型を持つ後半が続くかなり長いものである。印象的なのは前半で、もしかしたらこれも当時の俗謡俗曲の旋律だったのかもしれない。この親しみやすくのびやかで美しい曲は、アンドレアス・バッハ本に所収されている。アンドレアス・バッハ本とは、バッハの兄クリストフの筆写譜で、後に従兄アンドレアスが所有したためこの名がついた。現代のように電話一本、メール一通で買い物ができる時代と違い、印刷が途方もなく高価だった当時、自分が勉強する曲を自分で写譜をすることは当たり前であった。大変な労力であったと思うが、音を一つ一つ自分の手で書くことは、素晴しい効果的な勉強でもあったろう。筆写譜を見ると、これを写した若い音楽家はどんな人物だったのかと思う。最も今日、写譜のみが現存する曲の場合、筆写者の写し間違いを常に考慮しなければならないことから多くの議論、混乱が存在するのも確かである。この話はこのあたりで切り上げるが、ハイテクを駆使しての筆跡から紙の出自に至るまでの譜面の研究は大変興味深いものである。このアンドレアス・バッハ本にはパッヘルベル、ブクステフーデを含む様々な作曲家の作品が収められ、バッハ兄弟の勉強の軌跡が検証できる。またバッハ自身の初期の作品も何曲か所収されており、作品の背景から成立年代まで様々な研究のための一級の資料となっている。

ところでそもそも、フーガ、日本語で言う「遁走曲」とは何か。フーガとは、ある特定の旋律が複数の声部に順次現れる、対位法音楽を代表する様式のことである。多声の声楽曲から出発し、リチェルカーレ、ファンタジアなどの名前で、バロック初期には似たような対位法作品が作られたが、やがてフーガの名のもとに技法が統一されていった。特定の旋律、すなわち「主唱」がまず一つの声部で提示される。次に異なる声部が「応唱」と呼ばれる音程を変えた「主題」で応える。「主題」は「対旋律」と言われる、常に「主題」に寄り添う旋律を伴って、全ての声部に提示される。まったく「主題」の現れない喜遊部を間に置き、最後は、「主題」が畳みかけるように次々と現れる「ストレッタ」が現れ、コーダあるいは最後のカデンツ（終止）を迎える。これはフーガの基本的、典型的な姿であるが、必ずしも常にこのように進行するばかりではない。対旋律のないフーガがある一方、「主題」の縮小、拡大、逆行、鏡像、あるいは複数主題を持つものなど、複雑な数式を見るような、あるいは精緻な音の構造物を見るような作品がある。代表的な例の一つは「フーガの技法」であろう。これらはしかし、単に理論的なだけでなく、強固な構造物の持つゆるぎない巨大なエネルギーとでもいうべき強い表出力を持つ見事な芸術作品なのである。

BWV578
Fugue J.S.Bach

あいうえ　おるがん㊷
「オルガン名曲ガイド」
②J.S.バッハ作曲「小フーガ」ト短調　BWV578

松居直美
Naomi Matsui
オルガニスト／ミューズ音楽アドバイザー

10 “お昼どき” 500円スペシャル・コンサート N響メンバーによるブラス・クインテット

2010年5月28日(金)アークホール　開場12時30分　開演13時
出演／関山幸弘、井川明彦(Tp)、今井仁志(Hr)、新田幹男(Tb)
池田幸広(Tub)
曲目／ブラームス：ハンガリー舞曲より
バーンスタイン：「ウエストサイド・ストーリー」より ほか
●普段聴く機会の少ない編成で、それぞれの楽器の音色や素晴しいソロを聴くことができて感動しました。(所沢市・主婦)
●素晴しい演奏と楽しいおしゃべりで最高のひと時を過ごせました。(東村山市・主婦)
●さすがN響の音は素晴しく美しいハーモニーでした。曲目も多岐にわたり、楽しい時間でした。(所沢市・主婦)

9 “お昼どき” パイプオルガン500円コンサート
～春のぽかぽか陽気に誘われて～

2010年4月29日(木・祝)アークホール
①開場10時30分　開演11時　②開場14時　開演14時30分
出演／オルガン：桑山彩子
①曲目／スーパーマリオブラザーズ・メドレー
T. デュボア：トッカータ　ト長調 ほか
②曲目／エルガー：威風堂々第1番
R.シューマン：ペダル付ピアノのための練習曲第5番 ほか
●子供と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。(新座市・会社員)
●初めてパイプオルガンを生で見てとても感動し、すごいなと思いました。パイプオルガンについて興味を持つことができました。(川越市・中学生)
●演奏者の手元や足元の様子をスクリーンで見ることができ、技術の素晴しさに驚かされました。大変楽しいひと時を過ごせました。(東村山市・主婦)

12 錦織 健 テノール・リサイタル

2010年5月29日(土)アークホール
開場14時30分　開演15時
ピアノ／多田聡子
曲目／山田耕筰：からたちの花
ヘンデル：オンブラ・マイ・フ
プッチーニ：「星は光りぬ」(『トスカ」より)
ララ：グラナダ ほか
●声量の豊かさ、澄んだ声、本当にお見事です。自由自在の声の表現に感激しました。(所沢市・女性)
●抜群の歌唱力で素晴しかった。感動しました。(昭島市・女性)
●歌の素晴しさはもちろんのこと、トークの面白さ、ギターを弾きながら客席へ降りて歌ってくださってすごく嬉しく思いました。(ふじみ野市・女性)

11 「万作の会」狂言公演

2010年5月28日(金)マーキーホール
開場18時30分　開演19時
出演／野村万作、野村萬斎 ほか
演目／「解説＆ワークショップ」「附子」
「仁王」
●最初のワークショップで緊張が解けとても楽しく鑑賞できました。狂言がとても身近に感じられて良かったです。(小平市・女性)
●ワークショップで勉強してから本編だったので、子供たちにも初心者にも分かりやすくて良かった。(練馬区・主婦)
●初めて観る狂言がこんなに楽しく面白いとは…。また是非観たいです。(所沢市・主婦)

13 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「吾妻亭」

2010年5月29日(土)吾妻公民館ホール
開場13時20分　開演14時
出演／柳家喬之助、三遊亭小円歌
雷門花助
●久しぶりに落語を聞き大変楽しかった。久しぶりに大声で笑えた。(所沢市・女性)
●演者各位の熱意が伝わってきた。(所沢市・男性)

写真撮影／西田憲正(1)、村田ひろこ(2)、中村 仁(3・6の21日・7・8・13)、谷 亮(4)、塩野入好文(5・12)、松嶋 満(6の20日・11)、池田敏明(6の22日)、津田資雄(9・10)

親子で楽しむ夏休み 楽しむMUSE

ミューズの夏休みは、今年も親子で楽しむ企画満載です。
親子で楽しむコンサートや劇団四季の感動ミュージカル。
夏休みの宿題や自由研究に役立つ恐竜展も開催します。
ミューズに来れば、きっとみんなが笑顔になれるはず。
見ごたえ満点!!遊びごたえ満点!!の夏休みを、
ご家族揃ってミューズでお過ごしください!

アメリカの恐竜展

2010年8月27日(金)~9月5日(日)
ザ・スクエア 10時~18時(入場は17時30分まで)

入場料／一般500円　小・中学生300円
※小学生未満無料
※前売りチケットはございません。
入場料は当日会場入口にてお支払いください。

恐竜の世界が体験できる!

- 恐竜の足跡くらべコーナー
- CGプロモーション映像上映コーナー
- 恐竜の骨タッチコーナー
- スタンプラリー プレゼント付、各日先着50名(中学生以下対象)
- グッズ販売コーナー(恐竜グッズ・化石など)

ティラノサウルスの歯の化石標本▶

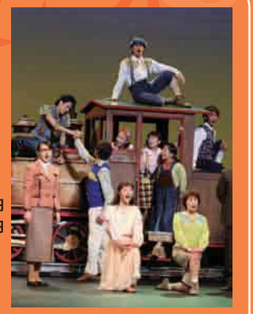
▲ステゴサウルスの頭骨の化石標本

キミも恐竜博士になろう!

●ボランティアスタッフ募集

「アメリカの恐竜展」について、ボランティアスタッフを募集しています。
活動日程:平成22年8月26日(木)／オリエンテーション(必ず出席)
平成22年8月27日(金)~9月5日(日)※会期中の休館日はございません。
申込締切:平成22年7月24日(土)必着
※応募要領など詳細は、月刊情報紙ミューズまたは、ミューズホームページをご覧ください。

所沢市市制施行60周年記念事業
劇団四季 ミュージカル
嵐の中の子どもたち



2010年7月21日(水)
マーキーホール
開場18時　開演18時30分

S席4,500円　S席中学生以下3,000円
A席3,500円　A席中学生以下2,000円
※3歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。 託

信じあう心と勇気を胸に、大冒険がはじまります!

親子で楽しむ
クラシックコンサート
「音楽の絵本」

2010年8月1日(日)
マーキーホール
〈1回目〉開場10時30分　開演11時
〈2回目〉開場14時30分　開演15時

出演／ズーラシアンブラス〔金管五重奏〕、弦(つる)うさぎ〔弦楽四重奏〕
曲目／天空の城ラピュタ・メドレー、森のくまさん
フニクリ・フニクラ、カルメン ほか
全席指定／一般1,500円　小学生以下800円
※3歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。 託

動物たちが奏でる多彩な音楽の世界をお楽しみに!

託 マークのある公演を対象に託児サービスを実施します。※詳しくはP14をご覧ください。

The Museum of info mart

インフォ・マート美術館㊴表紙を飾ったアーティスト・古田恵美子

生きるということ

絵を描かずにはいられない。何故なのかはよく解らない。職人さんが小さな精巧なボルトを造りあげたその時の、満足感ー何かを生みだせたという喜びー何かの役に立つのだというーそれに似ているかも知れない。絵描きはいろいろいるけれど、私の場合は誰かが、ほんの少しでも、心が和み、安らぎ、サァーいくぞーって気になってくれたら、ほんとうに嬉しい。そんな贅沢な事はそうそうあるものではないけれど。ただ、日々描き続けていく、60歳を迎えた普通のオバサンです。

表紙■「月光」　油彩・画布、18×14cm　1998年

EMIKO FURUTA

1950年北海道生まれ、千歳市で育つ。95年9月の「ミューズ秋の美術展(屹立のリリシズム)」、97年9月の「ミューズ秋の美術展(現代美術の精鋭)」にご登場いただいた古田恵美子氏。
80年に武蔵野美術短期大学油絵専攻を卒業。90年より作品発表を始める。以来、個展、グループ展などで積極的に作品を発表している。97年に第16回安田火災美術財団奨励賞展にて〈tomorrow-希望-〉で新作秀作賞を受賞。2009年には、74年に描いた「自画像」から2009年までに描いた作品の中から153作品を納めた「画集 古田恵美子」を三好企画(047-347-3211)より出版。また、2010年7月には北海道千歳市の千歳市民ギャラリーで「画集刊行記念 自選展」を開催する予定。

「children」
油彩・画布、16×23cm　2002年

「ツイノスミカ」
油彩・画布、40.5×40.5cm　2005年

「菜の花 あかり」
油彩・画布、21×12cm　2008年

能を体験してみよう!

プレ・お仕舞体験講座

「プレ・お仕舞体験講座」を開催しました!

毎年、夏の恒例ワークショップとなっている、ミューズの『やさしい能楽 1から始める お仕舞体験講座』が今年も開講されます。ミューズでは少しでも多くの皆さんに、能を体験していただく機会を提供したいと、小学生から参加できる「プレ・お仕舞体験講座」を5月30日(日)に開催しました。初めて能体験する参加者も多く、能の魅力をじかに体験できた充実したひと時となりました。

指導にあたったのは、7月1日(木)から始まる本講座の講師・能楽師の遠藤喜久さんです。

能楽の歴史を稽古前にわかりやすく解説

手足の動きをわかりやすく説明するために用意された特製の人形

能楽は600年も続いてきた、日本の伝統芸能です

遠藤喜久さんによる圧巻の模範演技!

1時間という限られた時間の中で、「老松(おいまつ)キリ」を謡って、舞うという、密度の濃い時間となりました。

皆さん、これをきっかけに、お仕舞に親しんでください!!

『やさしい能楽 1 から始めるお仕舞体験講座』も今年で6回目になります。受講したいと思っていても、能は難しい、大変!という感じが強いようです。特にお子さんを参加させたいけど、どんなものかわからないから、というケースも多いみたいです。そういう意味では、事前に1回見ることができたので、どんな先生かしら、どんなことをするんだろう、という不安も取り除かれたのではないでしょうか。とにかく知ってもらわないと始まりませんので、少しでも実体験できる今回のような企画は、本当に良い試みだと思います。(遠藤喜久さん談)

大人に交じって小学生も一生懸命に練習

本公演情報

チケット好評発売中!

伝統芸能普及事業 能楽講座
「触れてみよう! 能楽の世界」
2010年8月22日(日)キューブホール
開場12時30分　開演13時
出演／遠藤喜久 ほか能楽囃子方
全席指定／一般2,500円　中学生以下1,000円
※公演に関する詳細は、インフォ・マート通信(P12)をご覧ください。

Impression ワークショップの感想

- 初めての能体験でしたが、能というものがどんな踊りなのか、歴史を含め勉強になりました。
- 初めての体験でしたが、姿勢から始まり、動き、舞と教えていただき、とても興味深い講座でした。
- 謡うのが少し難しかったけど、だんだん分かってきて楽しくなったのでよかったです!
- 大変楽しい時間でした。能のすり足等、動きがとても難しいと思いました。「謡い」も興味深かったです。
- 生の先生の動きや声に感動いたしました。私の姿勢も良くなった気がします。
- 分かりやすい説明でお仕舞の練習も楽しかったです。
- やってみたらちょっと難しかったけど楽しかった。

チケットのお求めは
ミューズチケットカウンター 04-2998-7777

◆電話予約／10時~18時　◆窓口販売／10時~19時(休館日を除く)
◎発売初日は、お一人様6枚までとさせていただきます。
◎ご予約いただいたチケットは、ミューズチケットカウンターのほか、チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクスにてお引き換えいただけます。

チケットぴあ 0570-02-9999　ローソンチケット 0570-000-407
(10:00~20:00オペレーター対応)

託 マークのある公演を対象に託児サービスを実施します。

◆託児サービスの申し込み(有料・要予約)
【申し込み先】イベント託児・マザーズ
(月~金曜日／10時~17時)
0120-788-222
【託 児 料 金】0歳児／2,000円
1歳児以上／1,500円

MUSEカフェ=コンセール 開催
～室内楽・リサイタル・シリーズ～

※未就学児の入場はご遠慮ください。

「カフェのようにくつろげる雰囲気のコンサート」をコンセプトに、『MUSEカフェ=コンセール～室内楽・リサイタル・シリーズ～』を開催。
世界各国で活躍されている個性的なアーティストに出演いただき、新鮮で親しみやすいプログラムを予定しています。

2010年10月31日(日)
開場14時30分　開演15時　キューブホール

スタンリー・ホッホランド
フォルテピアノ

●曲目
〔オール・ベートーヴェン・プログラム〕
ピアノ・ソナタ第14番「月光」
ピアノ・ソナタ第15番「田園」
ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」
ピアノ・ソナタ第22番
全席指定3,500円

チケット好評発売中!

2010年11月7日(日)
開場14時30分　開演15時　マーキーホール

藤村実穂子
メゾソプラノ

ピアノ／ヴォルフラム・リーガー
●曲目
シューマン：リーダークライスop.39
ブラームス：ジプシーの歌op.108
マーラーの歌曲 ほか
S席3,500円　A席2,500円
B席2,000円(残席僅少)

チケット好評発売中!

2011年3月12日(土)
開場14時30分　開演15時　キューブホール

吉野直子
ハープ・リサイタル

●曲目
J.S.バッハ：シャコンヌ
C.P.E.バッハ：ハープのためのソナタ
ブリテン：ハープのための組曲 ほか
全席指定3,500円

2010 8/2(月)より チケット発売開始

託 上記3公演ともに託児サービスを実施します。 ※詳しくはP14をご覧ください。

MUSEのホール・展示室・会議室を利用してみませんか？

ARK HALL
アークホール

オーストリアの名門リーガー社の製作による日本最大級のパイプオルガンを備えた、クラシック音楽に最適なシンフォニーホール。シューボックスタイプ(靴箱型)のホール設計により、最高の音質と音響が楽しめます。

MARQUEE HALL
マーキーホール

馬蹄形の演劇ホールで、英・シェークスピア劇場のスワン座を参考に設計されました。奥行きのあるステージと、充実した音響・照明設備が、ミュージカルやオペレッタ、バレエなどあらゆる舞台芸術の魅力を余すところなく伝えます。

CUBE HALL
キューブホール

室内楽を主目的としたサロン風のホールで、やわらかな自然光の降り注ぐ4面の高窓が特徴です。客席にはワンスロープ形式を採用、ステージは2分割の迫りで利用形態によって変更できます。室内楽の演奏会、小規模な集会や講演会なども可能です。

THE SQUARE
ザ・スクエア

約180mのパネル展示空間を持った、総面積が約400㎡のギャラリーホール。美術展などの各種展示をはじめ、さまざまなレセプションやパーティー、講演会などにも、移動式パネルの活用でフレキシブルな対応が可能です。

お申し込みは

施設の利用受付
04-2998-6000
(9時～19時／休館日を除く)

所沢ミューズ　検索

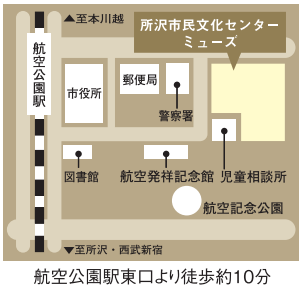
大ホール(アークホール)
中ホール(マーキーホール)
小ホール(キューブホール)
展示室(ザ・スクエア)、第2展示室
▶ 利用日の属する月の1年前の月の初日から利用日の10日前まで

会議室、和室、
練習室、リハーサル室
▶ 利用日の属する月の6カ月前の月の初日から利用日の前日まで

※空き状況が検索できます。 http://www.muse-hall-yoyaku.jp/

MUSE TOKOROZAWA

財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042　埼玉県所沢市並木1-9-1
TEL.04-2998-6500
http://www.muse-tokorozawa.or.jp



航空公園駅東口より徒歩約10分